

沖縄県

5カ年計画で全ての戦没者遺体収容へ

遺骨安置室も 移転・新築

当会の長年の働きかけ実る

戦後66年が経過しました。惨禍を知る世代も少なくなり、戦争が風化されつつある中で、当会は毎年「沖縄戦戦没者遺体収容の旅」を実施しています。昨年は全国から40人が参加して、沖縄県小波津で50体の遺体を収容したことは前号(19号)の「平和の灯」でお知らせしたところですが、

この結果を、厚生労働省や沖縄県に報告し、再調査を求めました。再調査を求めたままに放置されたままの戦没者発掘に向けて作業を始め、戦後70年となる2015年までに全ての戦没者を収容するという方針を示しました。私たちの長年の活動が実ろうとしています。



「戦没者遺骨収集情報センター」を設立

沖縄県は「戦没者遺骨収集情報センター」を糸満市平和祈念公園内に設置し、常勤の職員を配置して情報収集や未開封防空壕の発掘等を行います。沖縄県は8月1日、同情報センターの開

所式を仲井真知事らが出席して行いました。また、祈念公園内に設置してある老朽化した遺骨安置室も、移転、新築されることになりました。

「戦没者遺骨収集情報センター」を設立

沖縄県は戦没者の遺体収容作業と並行して、発掘した全ての遺体のDNA鑑定を行う方針を打ち出しました。

DNA鑑定は、戦没者の身元を確認し、遺族の元に返す決め手となるものです。これまで検出困難だったDNAを、鑑定精度の飛躍的な向上で検出できるように、「戦没者がふるさとに戻っていただける」

ケースが増える、と期待されています。

このため、遺族の方々にも照会用のDNAの保存が極めて重要になってきます。いずれ、日本政府から戦没者遺族に対し、DNAの提出が求められると思いますが、当会でも遺族用のDNA保存のためのキットの配布(会員1000円)を行ってまいりますので、お知らせしておきます。



題字 津留晴尚
戦没者追悼と 平和の会発行
〒849-0112
佐賀県三養基郡みやき町
江口7561
塩川総合企画㈱内
発行責任者 塩川正隆
電話 0942-89-5135
FAX 89-9281
e-mail:senbo-peace@senbotsusya.com
http://www.senbotsusya.com

発掘が可能な沖縄県糸満市の防空壕一覧(糸満市作成)

次の表は沖縄県糸満市が戦後50年時に作成した「糸満市域壕・ガマ(自然壕)一覧」からこれまでに発掘されたであろう残存壕を除いたものの一覧表です。糸満市だけで約150か所の防空壕・ガマが戦後66年間に放置されてきた実態が明らかになります。

番号	名称	位置	状況	備考
1	清原の壕	清原の壕	不明	
2	アンガマー	アンガマー	不明	
3	土門隊構築壕	土門隊構築壕	不明	
4	後山の軍構築壕	後山の軍構築壕	不明	
5	ウーシヌアナ、ウーシヌハナ	ウーシヌアナ、ウーシヌハナ	不明	
6	後山の壕、裏山の壕	後山の壕、裏山の壕	不明	
7	ウグガ、イリーヌカ	ウグガ、イリーヌカ	不明	
8	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
9	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
10	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
11	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
12	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
13	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
14	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
15	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
16	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
17	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
18	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
19	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
20	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
21	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
22	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
23	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
24	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
25	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
26	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
27	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
28	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
29	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
30	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
31	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
32	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
33	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
34	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
35	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
36	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
37	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
38	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
39	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
40	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
41	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
42	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
43	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
44	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
45	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
46	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
47	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
48	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
49	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
50	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
51	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
52	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
53	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
54	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
55	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
56	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
57	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
58	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
59	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
60	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
61	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
62	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
63	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
64	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
65	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
66	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
67	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
68	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
69	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
70	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
71	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
72	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
73	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
74	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
75	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
76	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
77	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
78	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
79	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
80	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
81	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
82	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
83	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
84	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
85	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
86	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
87	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
88	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
89	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
90	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
91	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
92	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
93	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
94	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
95	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
96	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
97	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
98	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
99	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	
100	カーヌウイ	カーヌウイ	不明	

平和の灯

忌野清志郎の死から1年が経った。彼が生前結成していたロックバンド「RCサクセション」のアルバムが、発売中止(後に別会社から発売)になったことがある(1988年)。「原発」を歌ったということでも親会社の東芝(福島原子力発電所にも設備を納入していた)が圧力をかけたのがその理由だ。その歌詞は、「東海地震もそこまで来ただけでもまだまだ増えていく、原子力発電所が建っていきさっぱりわかかんねえ、誰のため?」「たまたまのバカンス田舎へ行けば37個も建っている、原子力発電所がまた増える」というものだ。現在、日本の原発は55基、建設中3基、計画中が11基の合計69基と、約2倍近くに増えている。彼は今、草葉の陰でこの事故をどう思っているだろう。

今回の事故は、人間の「驕り」が一番大きな原因だ。人間が完全に制御できない未完成なものを目先の利益のために実用化し、私たちが子孫に大きな害を与える結果を招いた。今を生きている大人たちは全員に罪がある。私たちの罰は、もつと謙虚になり、多少電気が高くなったり、生活が不便になっても、未来の子どものために「原子力発電所の全廃」を選択することではないだろうか。誰かが決めるのではなく、自分たちが決めるという気概をもつて...

厚生労働省ヒアリングを報告

当会は戦没者の遺体収容や遺留品の返還を求めて、厚生労働省社会援護局企画課外事室との交渉を行ってまいりましたが、今回は、2011年5月20日の交渉経過について解説を加え報告します。



交渉風景(古賀一成事務所)

5月20日は古賀一成衆議院議員の事務所をお借りし、古賀議員と内山晃衆議院議員のヒアリングという形で両議員同席で行いました。

「会計検査院の指摘もあり、剰余金は国庫返納することになった」と

1、平成23年度戦没者関連予算の内容と執行予定について

厚生労働省から前号(19号)掲載の「平成23年度予算」の執行状況についての説明がありました。特に「政権交代後、硫黄島の戦没者収容をはじめ、戦没者関連予算を倍増したのが特徴的だ」

2、日本遺族会の賛助金徴収について

日本遺族会が、戦没者慰霊事業費として国家予算がついているにもかかわらず、参加者から賛助金を取っていることについて

3、フィリピンでの遺骨収集「比政府との交渉状況」について

「フィリピン政府との政府間交渉は、昨年10月からストップしているが、貴会が提示したフィリピン・カモテス島等個別事案については、外務省を通じて



フィリピン・カモテス島で発掘された人骨

4、沖縄の遺骨収集の進捗状況について

糸満市の不明・埋没壕の調査について

「平成23年度の道筋をつけた。6月に外事室長が訪沖し、沖縄県と打ち合せの上回答する」

5、その他

パラオ共和国ベリリユー島の旧日本軍の戦争残骸の除去と防空壕内の遺体収容について申し入れました。

なお、今回は厚生労働省から外事室長他3名、古賀一成衆議院議員、内山晃衆議院議員、古賀議員秘書の佐武氏、内山議員秘書の久木氏、当会から塩川代表理事が出席しました。

当会の運動の輪が広がる

アメリカCNNテレビで世界に放映

戦没者の遺体収容と遺留品返還を大きな柱とする当会の活動の輪が国内外に広がっています。遺留品はこれまでに、120を超す遺族に返すことができてきたが、この中にはアメリカの旧軍人やその家族の協力で実現できたケースがあります。

「佐賀県母親大会」「福岡県放射線技術師会」「久留米市水曜会」などそれぞれに講師や、コーディネーターを派遣し、戦没者が一日も早く遺族の元へ帰れるように訴えました。

列の今年度のFNN大賞にノミネートされるなど高く評価されています。

各地で講演活動

講演も行ってきました。「佐賀県母親大会」「福岡県放射線技術師会」「久留米市水曜会」などそれぞれに講師や、コーディネーターを派遣し、戦没者が一日も早く遺族の元へ帰れるように訴えました。

サガテレビはFNN大賞にノミネート

また、サガテレビ(フジテレビ系列)では「日本人の忘れもの」というタイトルで、戦後66年も放置されたままでいる戦没者の問題を全国放送しました。番組では、日本人は、「国のために犠牲になった戦没者」を忘れてきたままではいけないか、と問題提起をしてくれました。

励ましの手紙も

「日本人の忘れもの」を見た東京の学生から、当会宛に励ましの手紙が届きましたので紹介します。

千葉県の戦没者遺族に日章旗返還

アメリカ・ニューヨーク州のマーティン・コナーさんが、当会に委託していた日章旗の遺族が判明しました。日章旗は、米兵が硫黄島で入手したもので「山田忠雄さん」のものと考えられます。5月、千葉県に住む山田さんの甥に返還しました。(写真)



アメリカ・ニューヨーク州のマーティン・コナーさんが、当会に委託していた日章旗の遺族が判明しました。日章旗は、米兵が硫黄島で入手したもので「山田忠雄さん」のものと考えられます。5月、千葉県に住む山田さんの甥に返還しました。(写真)

中国語の日章旗は9月に現地調査

またニューギニアで発見された中国語で書かれている血染めの日章旗については、9月に台湾に赴き、現地調査を行う予定です。

ホームページも更新充実

77連隊朝鮮半島出身戦没者名簿

北朝鮮・平壤龍山墓地埋葬者名簿

当会はホームページを通じて、多くの方々に活動を紹介したり、遺族や遺留品探しを行っています。当会の活動は全てボランティアです。十分ではありませんが、逐次更新し、内容の充実を図っています。

(いずれも故人)が所属していた陸軍歩兵第77連隊の中で、朝鮮半島出身戦没者の住所・氏名を掲載しました。この住所は戦前のものですし、氏名も植民地政策の下、日本名に改称されていますので分かりにくいとは思いますが、心当たりのある方はご連絡ください。

厚生労働省の記録によれば、北朝鮮には3万3800人の戦没者が眠っています。その中で、平壤の龍山墓地は、旧満州から南下し、旧ソ連軍の38度線閉鎖により、平壤における収容所生活中に死亡した邦人を埋葬したもので、北朝鮮で最大の墓地です。「続々・引揚げ援護の記録より」



名簿が古く不明確な氏名もありますが、心当たりのある方は「一報ください」。

今の日本社会に閉塞感と不安を感じます。思えば、戦時中、多くの人が犠牲になり、多くの人が死んでいきました。戦時中、多くの人が犠牲になり、多くの人が死んでいきました。戦時中、多くの人が犠牲になり、多くの人が死んでいきました。

私は大学と国際政治を勉強しています。戦時中、多くの人が犠牲になり、多くの人が死んでいきました。戦時中、多くの人が犠牲になり、多くの人が死んでいきました。

それは、お体に気をつけてこれからも活動させていただきます。塩川 大平 4年生

NPO法改正「寄付者に大幅な税制免除」

年間100人の寄付も認定基準

引き続き一人3000円の募金をお願いします

- 公益的な活動をするNPO法人への税制優遇措置を拡大する税制改正法と、その税制優遇が受けられる「認定NPO法人」の要件緩和などを柱とした改正NPO法が成立しました。
- 認定NPO法人資格を受ければ、個人の場合「寄付した金額から2000円を超えた分の半額が、所得税と住民税から減額される」、法人の場合は「経費とみなされる」。
- 当会は、一昨年から認定NPO法人の資格取得に向けて準備を進めてきましたが、ハードルが高く、佐賀県で
- は僅か1法人しかないのが現状です。今回のNPO法改正に当会の事務処理を照らし合わせると、クリアしなければならぬのは、前年度と今年度の寄付者が200人を超えることのみです。
- 昨年から会員の皆さんには認定取得の募金をお願いしてきたところですが、再度一人3000円の募金をお願いするところです。

改正NPO法の キエツク項目

- 1、年3000円以上の寄付者の数が100人以上あるか
- 2、事業活動において、公益的な活動の占める割合が50%未満である
- 3、運営組織及び経理が適切である
- 4、事業内容が適正である
- 5、情報公開を適正に行っている
- 6、所轄庁に対して事業報告書などを提出している
- 7、法令違反、不正の行為、公益に反する事実等がない
- 8、設立の日から1年を超える期間が経過している

坂木副理事長逝去

僧侶として戦没者追悼に尽力



カンギボット山にて参拝する故坂木副理事長

坂木茂太郎副理事長が今年7月3日、亡くなった。坂木副理事長は昨年11月死去した永田勝美理事長とともに、当会の設立にご尽力、活動を支える一方、僧侶として沖縄やフィリピンで戦没者を弔っていた。坂木さんはフィリピン・ミンダナオ島で九死に一生を得ながら、自分だけが生きて帰って申し訳ないと、定年(60歳)後に出家し、僧侶の道を歩んできました。

坂木さんの経歴のおかげでどれだけ多くの戦没者の魂が安らくなったことでしょうか。昨年90歳になり、「今年が最後だから」と言って、生き残ることができたミンダナオ島に行きましたが、言葉通りとなってしまう。当会としては、坂木さん、永田さんの遺言を守り、歩兵77連隊の戦友の眠るフィリピン・レイテ島カンギボット山に散骨させていたたくことを約束いたします。

坂木さん、長い間お世話になりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

永田理事長の遺骨レイテ島に眠る



故永田理事長の遺骨を散骨する塩川代表理事(カンギボット山)

昨年11月に亡くなった前理事長・永田勝美さんは生前「命尽きたら戦友とともに眠りたい」と話していました。ご家族の了解を得たうえで、遺言通り今年3月、フィリピン・レイテ島に永田さんが建立した「日比合同慰霊碑」などで散骨してきました。

10月には坂木さんもこの場所に散骨の予定です。戦友の方々とともに、私どもの活動を温かく見守って下さると思います。お二人のご冥福をお祈り申し上げます。

日比友好親善事業

永田さんと、坂木さんが築いた日比友好親善事業は続いています。第16回日比合同戦没者追悼式典は今年6月、行ないました。また、今年もレイテ島カンギボット山周辺の小学校に学用品と運動用品を寄贈しました。

パリティ小学校に学用品寄贈

毎年、日比合同戦没者追悼式典に学校を上げて協力いただいているパリティ小学校の児童全員(約450人)にノートを寄贈しました。



カトバロガシ小学校には運動用品

小学生が日本の地震の心配

また、カンギボット山に最も近いカトバロガシ小学校にはサッカーボールなど運動用品を寄贈しました。小学生たちも、日本が地震による被災で苦しんでいることを知り、「私たちは大丈夫だろうか?」「今年には会えないかもしれない」と心配してくれていた様子を知られ、うれしく涙がでました。



第16回日比合同戦没者追悼式典

第16回日比合同戦没者追悼式典は、パリティ小学校の学校行事と重なり、例年の様にはできませんでしたが、永田さんが建立した日比合同慰霊碑に参拝してまいりました。



平成23年度総会を開催

8月21日午前11時から、福岡県久留米市のハインステル久留米において「平成23年度NPO法人 戦没者追悼と平和の会総会」を開催しました。

当日は、総会員数254人のうち、出席者数21人(委任状 130人)で事務局次長 塩川聡を議長に次の内容を審議、確認しました。

審議事項

- 第1号議案 平成22年度事業報告について
 - 第2号議案 平成22年度決算報告・監査報告について
 - 第3号議案 理事長・副理事長の選任について
 - 第4号議案 平成23年度事業計画・予算について
 - その他
- 議事録署名人について
認定NPO法人について
平成23年度会費納入・会員拡大について
その他
- 第3号議案の「役員選任について」では、永田勝美理事長・坂本茂太郎副理事長の死亡により、残任期間の新理事長に塩川正隆氏、新副理事長に川村博文氏・高木一希氏を選出することを提案し、議長がこれを踏ったところ全員異議なく原案に同意することを決定しました。総会の内容について、資料にて報告します。

平成22年度事業報告書

- 平成22年8月1日から平成23年7月31日まで
1. 事業の成果
- 1) 戦没者の追悼
平成23年1月、沖縄県戦没者遺体収容の旅参加者で追悼を行いました。
- 平成23年6・7月、フィリピンでの調査とともに戦没者の追悼を行いました。
- 2) 遺体収容
「沖縄戦戦没者遺体収容の旅」を開催、全国各地の会員など(約40名)が参加し、遺体収容作業を行いました。
- 現地の情報をもとに、フィリピンでの調査、試掘を行いました。
- 沖縄で発見された万年筆や元アメリカ兵のマー
- 平成22年8月1日から依頼を受けた日章旗など、計6点の遺留品を家族にお返ししました。
- 3) 諸外国友好親善
毎年行っています。日比合同慰霊祭を通じて、フィリピン・レイテ島・ピリヤバの皆さんと交流を行い、学用品を寄贈しました。
- 4) 平和運動参加
11月、佐賀市で行われた「佐賀県母親大会」に参加し、平和講演を行いました。
- 3月、東脊振公民館主催の講演会と放射線技術師会筑後支部学術研修会での平和講演を行いました。
- 5) 会報発行
当会の活動内容の報告及び今後の予定など、会員とのつながりを持つことができました。

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成22年8月1日から平成23年7月31日まで

特定非営利活動法人 戦没者追悼と平和の会

科 目	金 額 (単位: 円)
(資金収支の部)	
I. 経常収入の部	
1. 会費・入金会金収入	802,500
会費収入	
2. 寄付金収入	669,500
寄付金収入	
経常収入合計	1,472,000
II. 経常支出の部	
1. 事業費	
戦没者追悼費	61,680
遺体収容・返還費	671,800
諸外国友好親善費	26,010
平和活動費	0
会報戦史発行費	188,475
2. 管理費	
通信費・輸送費	119,345
交際費	70,525
会議費	23,100
消耗品費	19,274
新聞図書費	15,250
諸会費	16,560
雑費	2,720
経常支出合計	266,774
経常収支差額	1,214,739
III. その他資金収入の部	
受取利息	51
その他資金収入合計	51
IV. その他資金支出の部	
その他資金支出合計	0
当期収支差額	257,312
前期繰越収支差額	129,924
次期繰越収支差額	387,236
(正味財産増減の部)	
V. 正味財産増加の部	
1. 資産増加額	257,312
2. 負債増加額	0
当期正味財産増加額	257,312
前期繰越正味財産額	134,424
当期正味財産合計	391,736

2. 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
戦没者の追悼	慰霊巡拝	1月14日～16日 6月23日～7月1日	沖縄 フィリピン	10名	戦没者及びその遺族 60万人	61
遺体収容と返還	「沖縄戦戦没者遺体収容体験」を開催	1月14日～16日	沖縄県	40名	戦没者及びその遺族 60万人	671
	遺留品返還	1年間	全国	2名		
諸外国友好親善	レイテ島のバリティ小学校生徒及び、現地人との交流	6月23日～7月1日	フィリピン レイテ島	1名	レイテ島 ピリヤバ住人 600人	26
平和活動	平和講演	11月7日 3月11日 3月26日	佐賀県 福岡県	3名	戦没者及びその遺族 60万人	0
会報及び戦史発行	会報「平和の灯」 第18号発行 第19号発行	8月31日 2月28日	事務局	10名	戦没者遺族会等 500人	188

活動記録

平成22年8月1日～23年7月31日

NPO法人戦没者追悼と平和の会

活動日	活動内容	従事者	活動場所
22年	8月 2日	1	千葉県
	3日	1	東京都
	16日	6	事務局
	21日	28	久留米市
	9月 4日	1	群馬県
23年	10月 15日	1	東京都
	11月 7日	2	佐賀県
	1月 5日	4	事務局
	12～13日	3	沖縄県
	14～16日	50	沖縄県
	20日	6	事務局
	20日		
	25・26日		
	29日		
	27日	3	東京都
2月 10日	1	群馬県	
2・3月 25～3日	1	フィリピン	
3月 11日	1	佐賀県	
26日	1	福岡県	
4月 19日	1	フィリピン	
4・5月 29～6日	1	東京都	
5月 18～23日	1	千葉県	
19日	1	フィリピン	
6・7月 23～1日	1	東京都	
7月 14日	1	東京都	

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
戦没者の追悼	戦没者の追悼及び祈念碑の維持管理を行う	年2回	フィリピン 沖縄	各3名	戦没者及びその家族100万人	100
遺体収容と返還	インターネットを通じた依頼や発掘による遺留品の情報を調査し遺族に返還する	常時	全国 アメリカ	3名	戦没者及びその家族300万人	2,000
	アメリカ国立公文書館の米軍戦闘記録を調査し、戦没者の遺体収容に活用する	年2回	フィリピン 全国	10名	戦没者及びその家族240万人	
諸外国との友好親善	多くの日本兵が亡くなったカンギボット山やマッカーサー上陸地点のパロ十字架山周辺の小学校に学用品を贈る	年1回	フィリピン レイテ島 ピリヤバ町	2名	フィリピン レイテ島 ミンダナオ島の住民15万人	100
平和活動	小学校や平和団体からの講演依頼による、講師派遣や遺留品の展示を行う	年5回	全国	20名	国民1億2千万人	300
会報及び戦史発行	当会の活動及び計画を、会員全員に報告 また、戦争を語り継ぐ手段として、機会があれば配布する活動の記録Ⅲを発行する	年3回	当事務局	10名	会員及びその関係者2万人	500

平成23年度事業計画書

自平成23年8月1日
至平成24年7月31日

1. 事業の方針

政権交代後、菅総理は「国の命令で進めさせたものは、国の責任で収容するのが国の責務」という方針の基に、アメリカ国立公文書館に首相補佐官を派遣して、硫黄島の日本兵埋葬記録を入手し、3ヶ年計画で戦没者収容を行っている。また、沖縄県においては、職員を採用し、沖縄県内のボランティア団体と協力して、県内すべての埋没・不明防空壕の調査に乗り出した。

この日が来るまで34年を要した。当会をはじめ、多くの方々の協力が国や県を動かす事ができたことを多くの皆様とともに歓迎したい。

今後は、国・県や全国のボランティアを中心とした戦没者収容チームが生まれ、国家予算で遺体収容が行われることになろう。

既に、今年硫黄島では実施され、当会にも案内が来たが参加しなかった。一方、海外(フィリピン)に至っては、日本政府派遣のNPO団体が現地の墓を盗掘したと訴えられ、日比両国政府の関係は良好とは言えず、戦没者収容に支障をきたしているところもある。

いずれにしても、日本兵戦没者の埋葬記録はアメリカ国立公文書館には保存されていることから、そこを探索すれば多くの戦没者の発見に迫り、当会のはまちはいい。当会がアメリカに赴き、指摘するまで放置してきた日本政府の責任は重い。一日も早く戦没者が遺族の元に帰れるよう活動を継続したい。